



# 新緑

しんりょく



No. 9  
2019.6

【発行】社会福祉法人 新緑福祉会／神戸市西区玉津町水谷字セリ合 400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <https://www.shinryoku.or.jp/>

## 「平成」から「令和」に 障壁のない明るい時代に

新緑福祉会 理事 寺本 迪彦



新元号「令和」がスタートしました。誰もが住みやすい良き時代になる事を心から願っています。私たち、一人ひとりの努力も必要だと思います。

平成、皆さんはどのような時代でしたか。様々な

思いが去来していることと推察いたします。私は戦争のない時代であったこと、阪神・淡路大震災、東日本大地震等災害が多く記憶が残っています。災害を通してボランティア活動が活発になり、人を支え、助け合う心が生まれた時代であったと思います。阪神・淡路大震災が、ボランティア元年だと言われています。新緑福祉会の施設が3施設お世話になっている「しあわせの村」は神戸市制100年を記念して計画され、開村されてから30年を迎えました。樹木も年輪を重ね、市民の憩いの場所として、楽しめる福祉ゾーンになりました。

新緑福祉会の各事業所も新入所者の入所、職員の新規採用や異動もあり、新しい年度が始まりました。現在、新緑福祉会は入所支援施設1施設、通所サービス事業

所5事業所、相談支援事業所3ヶ所、共同生活援助事業所(グループホーム)4ヶ所、短期入所事業所を経営し、職員数176人(平成31年4月1日現在)皆さんに支えられて、少しずつですが法人も大所帯になりました。尚、9割の事業所が平成時代に設立されたものです。

理事の一人として考えることは、各事業所は利用者、保護者、地域の信頼を更に得るために魅力ある施設創りが求められています。そのためには、職員の資質の向上として①「人間性を高める」：人を思い暖かい気持ちを利用者、保護者、同僚職員共に共有し豊かな人間関係を構築していくこと。②「学ぶ姿勢」：専門性を高めることと同時に幅広い教養を身につけていくこと。③「心身の健康」：常に健康管理に気をつけ「心」と「身体」に気をつけること。④「自己覚知」：自己を知り、自分自身を把握すること。が大切だと思います。

職員の資質と思われることを列挙しましたが、自己研鑽を積まれ、良き職業人も大事ですが、良き社会人になって欲しいと願っています。

駄文になりました。今後も社会福祉法人新緑福祉会に暖かいご支援、宜しくお願い致します。

## ご 報 告

平成31年4月21日(日)しあわせの村修館に於いて、しあわせの村開村30周年記念式典が執り行われました。

式典の冒頭で、新緑福祉会を代表して、平田理事長が神戸市長より感謝状を頂戴いたしました。



## 未来に向かって



4月のある晴れた日に一人で電車に乗り、車窓から見える満開の桜を眺めながら、最後に息子の皓太と一緒に桜を見たのはいつだったろう…と思い巡らせていました。皓太は最重度の知的障害がある自閉症で、かつ行動障害もあります。今まで大小含めて多くの問題行動を起こし、その度に親である私たちは神経をすり減らしてきました。穏やかに過ごせるときも多くあるのですが、いつどういう風に崩れるか分からないので、近年は親子で一緒に出掛けることも無くなっていました。

グリーンホーム平成 保護者会 会長 畠森圭子

そんな皓太ですが、通園施設・地域の小学校・支援学校時代は先生方にかわいがって頂き、グリーンホーム平成でも職員の皆様がどんな大変なときも全力で支援してくださり、皓太にとっても親にとっても本当に難く感謝してもしきれません。

今は行動援護と短期入所の福祉サービスを使用できており、親子共々助けられています。ですが、過去には「こんな多動な子は見られない」と断られたことも多々あり、精神的に落ち込み、絶望感に苛まれたりもしました。

皓太は一人っ子で兄弟はいません。22歳ですのでまだまだ親元で生活していくますが、あつという間に年月が流れていくでしょうから、親が元気なうちに先のことを考え準備していかなくてはと思います。制度も年々変わっていくので、それらを見据えつつ考えていきたいです。

新しい令和の時代とともに、安心して「親亡き後」を迎えるような明るい未来がやってくることを願ってやみません。

### グリーンホーム平成 開設30周年記念

グリーンホーム平成 主任支援員 坂井均

また全員参加の楽しい企画も用意していただき、会場が驚嘆と笑いに包まれました。

最後に参加された皆様へ、30周年記念誌・感謝状・記念品をお渡しして、無事終了しました。

今回の企画は、グリーングリーンホーム平成と共に30周年を迎えるしあわせの村内の施設で、式典を開催したいという担当の強い意志から始まりました。グリーンホーム平成らしい笑顔いっぱいの式典になり感謝です。

これからも笑顔を大切に、グリーンホーム平成らしく新時代も進んでいけたらと思います。これからもグリーンホーム平成をよろしくお願ひいたします。



## 絆リレー

ワークセンターいわや 生活支援員 東野直文

絆リレーは、「絆をつなげる。思いをつなげる。未来につなげる。そして、櫻をつなげる。」をテーマに平成25年の「絆駅伝大会」がはじまりました。「絆リレー」は、「200m×4名のタイムレース」と、事前に申告した目標タイムにゴールするよう目指す「200m×4名のぴったんこタイムレース」に分かれて競技を行いました。平成最後の「絆リレー」は、「タイムレース」8チーム、「ぴったんこタイムレース」8チームが参加しました。年々、「絆リレー」の参加チームは増えています。今後も「絆リレー」を通して、事業所の団結力を高めると共に他事業所との「絆」を深める大会であってほしいと思います。

1

ちなみにワークセンターいわやは、タイムレース（通常の競争）に「たこてん」チームが出場し、5位でした。また、ぴったんこタイムレースに「いかてん」チームが出場しました。

グリーンホーム平成は4チーム参加し、皆さん精一杯走りました。

入賞には至りませんでしたが、応援の皆さんと共に大会の雰囲気を十二分に楽しんでいました。

ワークホーム緑友は「セメダインX」チーム、「リニア緑友」チーム、「ハヤブサ緑友」チーム、「電波ソーラ腕時計派」チームの4チームが参加し「セメダインX」チームが2位に入賞しました。

2



## ひっぱリーグ神戸2019

ワークホーム緑友 施設長 堀江善也

3月17日(日)グリーンアリーナ神戸で、ひっぱリーグ神戸2019が行われ、とこはの家とワークホーム緑友が参加しました。

とこはの家は、「とこはヒーローズ」という名前で、7部に参加しました。

当日は、利用者5名(選手)+利用者3名(応援)で参加し、特別賞「一丸となったで賞」を受賞しました。みんなやる気いっぱいに参加していました。絶対勝つ気持ちがあり、よく頑張って綱を引いていました。



ワークホーム緑友は、3部「わっしょい緑友」・7部「がっつりA定食・麺大盛」の2チームに分かれ11名が参加しました。



結果は、「がっつりA定食・麺大盛」が7部優勝、「わっしょい緑友」が3部4位で特別賞「ねばってひいたでしょう」を受賞しました。

とこはの家の試合もワークホーム緑友の試合も、勝敗にかかわらず利用者が健闘し、いい試合が多かったです。



皆さん、  
お疲れさまでした。

## 新人職員の自己紹介



ワークセンターいわや

よこぜき いさむ  
横 関 勇

最近、感動したこと

**施設長**  
4月より勤務させて頂いている横関 勇です。バドミントンが趣味で、昨年6月から高齢者を対象とした初心者教室を開催していました。施設長となり、教室は終了することになりましたが、生徒さんからお礼に大きな花束を頂き、本当に感動することになりました。また、生徒さんがクラブを立ち上げ、活動を続いているのも大きな喜びです。「いわや」でも楽しい出会いがあると期待しています。どうぞ、よろしくお願ひします。

たなか くにひで  
田 中 邦 英

ココで働きたいと思った理由



支援員

私は、尊敬する諸先輩方がたくさんいる貴法人で、一緒に働き、たくさんのことを感じ学びたいと思い希望をいたしました。日々、先輩方の背中を見ながら勉強をしていきたいと思います。いつもよくしていただき、ありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

こうち まり  
河 内 麻 里

ココで働きたいと思った理由



支援員

中学2年になる息子が発達障害が有り、なかよし学級に所属している事もあって障害者に接する機会が多くなった事、また障害者の支援者としての仕事で学ぶ事が多いと思い、今年度からココで働くことを決めました。今後は子育ての中で学んだ事も仕事で生かす事が出来たら良いと思います。

たなか ようこ  
田 中 陽 子

これからの抱負



相談員

私は、主に訪問介護事業所で働いてきました。そして平成29年に、相談支援専門員になるための研修を受け、計画相談支援にも取り組んできました。

なだ障害者地域生活支援センターでは、障害のある方や、ご家族の気持ちを受け止め、心に寄り添える相談員になりたいと思います。

うちやま なみこ  
内 山 ナミ子

咲の樹との出会い



支援員

女優である宮城まり子さんが静岡県に「ねむの木学園」を創設されました。テレビで当時、有名な高松宮様も訪問されていました。平成30年2月天皇皇后両陛下も施設訪問が最後ということで「ねむの木学園」を訪問されたのをテレビで見て、感動し涙が止まりませんでした。そんな縁で、「咲の樹」が「ねむの木学園」と一致することが多く、「咲の樹」で働きたいと思いました。自分の人生の中で、宮城まり子さんのように誰からも愛され、信頼され、入居者の皆様が幸せになられるように、温かく明るい笑顔の絶えない咲の樹で、一緒に生活をしていきたいと思います。よろしくお願ひします。



たからだ

これからの抱負

支援員

昨年度の2月から咲の樹に採用になりました「たからだ」と申します。知的障がいの方の支援に関する仕事は初めてで知識もない私ですが、やる気だけは誰にも負けないつもりです。入居者の皆様の笑顔が溢れるより良い生活の為に一生懸命取り組んでいきたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。

いとはら くにひこ  
糸 原 邦 彦

これからの抱負



副所長

昨年、神戸市を定年退職し、私にとって初めての職種での勤務となりました。

短時間の勤務の中で何件か訪問する機会がありましたが、一人の生活・人生に直接かかわる非常に重要な業務だと実感しています。

社会を構成する一員として、同じく社会を構成する他の人たちのお役に立てるよう精一杯やってみたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

なかとう なおき  
中 塔 直 樹

これからの抱負



支援員

介護福祉士の専門学校に2年間通いました。他のクラスメイトは老人福祉の道に進みましたですが、私は障害者施設であるグリーンホーム平成でお世話になることになりました。在学中の実習で障害者に接する機会をいただいて、障害者福祉に興味をもったからです、どうぞ宜しくお願ひいたします。

まえだ ゆうな  
前 田 優 奈

これからの抱負



支援員

4月よりとこはの家で支援員として働いています。まだまだ分からぬことが多いですが、利用者の方にとって気軽に相談しやすく、頼ってもらえるような存在になれるように頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

もりもと み か  
森 本 美 香

これからの抱負



支援員

4月からむつみの家の支援員として担当をもたせて頂いています。まだまだ、空回りで流れをつかむこと、憶えることに必死ですが、利用者さんにはむつみに行くのを心待ちにされるような支援をして又何事にも試みながら学ぶ気持ちを持ち続けたいと思っています。

みやうち よしお  
宮 浦 翔 子

これからの抱負



支援員

4月よりワークホーム縁友で働かせていただいております。福祉の分野についてまだ知らないことがたくさんあるので日々勉強し、利用者さんやご家族さんをはじめ、職員の方々にも頼られるように精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

やまかわ ひでき  
山 川 英 記

これからの抱負



支援員

面接に応募した理由は、家から近い立地にあることと、夜に働けると言う単純な理由でした。いざ見学してみると職員の方の熱い思いをもって働かれていることに感動しました。それで、私もここで働くことになり、最初は不安もありましたが、入居者の皆さまと接するうちに、楽しさを感じて今は働くことが出来ています。まだまだ、至らないところだけですが、これからもよろしくお願ひします。

**報告** 法人内各事業所で実習等の受入れを行いました(平成30年8月8日～平成31年3月31日)

とこはの家

- ソーシャルワーク実習 平成30年8月8日～9月14日 武庫川女子大学 1名
- 保育実習 平成30年10月9日～19日 神戸親和女子大学 1名  
平成31年2月18日～3月1日 神戸常盤大学 1名

グリーンホーム平成

- 保育実習 平成31年2月8日～21日、3月5日 神戸常盤大学 1名

**講師派遣**(平成30年9月～平成31年3月)

とこはの家

- 9月18日 西区障害者支援センター 講師：岡崎副施設長

なだ障害者地域生活支援センター

- 2月24日 さかい聴覚障害者防災ネットワーク  
なだ障害者地域生活支援センター山本副所長が、堺市の「さかい聴覚障害者防災ネットワーク」の学習会で、灘区自立支援協議会の災害時要援護者支援の取り組みについて、講師を務めました。
- 3月3日 NPO法人みちしるべ神戸セミナー  
なだ障害者地域生活支援センター山本副所長とえみのき三浦主任相談員が、みちしるべ神戸のセミナー「グループホームの生活」について、講師を務めました。
- 3月6日 スミリンケアライフ株式会社  
なだ障害者地域生活支援センター山本副所長が、スミリンケアライフ(株)の社員研修で、「障害制度・連携」について、講師を務めました。

神戸市発達障害者東部相談窓口

- 1月22日 東灘区民生委員児童委員協議会研修会  
神戸市発達障害者東部相談窓口の小林相談員が、東灘区民生委員児童委員協議会の研修会で発達障害者支援について、講師を務めました。

## むつみ's kitchen

玉津むつみの家では、例年12月にむつみの家・とこはの家合同のクリスマス会が行われます。昨年も12月21日の昼食にイベント食としてクリスマスマニューレを提供しました。

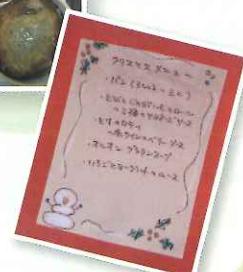
メニューは委託業者であるイフスコヘルスケア(株)の調理師の方に考案していただきました。見た目も華やかで、料理の添えに至るまで凝ったものでした。

当日は、初めて見るフレンチのコース風料理に皆さん大興奮でした。大変おいしくて利用者も職員も大満足でした。

イベント食は、いつも増して利用者のみなさんが期待し、楽しみにされていると感じています。

これからも喜んでいただけるように、施設職員と委託業者が協力しながら、より良い食事を提供していきたいと思います。

玉津むつみの家 管理栄養士 沢田 伸子



## ワークホーム縁友

施設長 堀江 善也



ワークホーム縁友があるしあわせの村は、今年の4月で開村30周年を迎えました。

ワークホーム縁友は、開村の2年前の昭和62年にオープンしており、今年の5月1日で、昭和・平成・令和の3時代を歩むことになります。

現在、就労B事業は、しあわせの村施設の除草作業、プール清掃作業、ホテルのリネン作業を行っています。

生活介護事業は、紙袋の下請け作業と体育館清掃作業を行っています。

また、年間を通し、作業以外にも楽しい行事を企画しており、4月はお茶会を行いました。

お茶会は、利用者のみなさんがお点前をしたり、お茶やお菓子をよばれたりし楽しく過ごしました。

令和元年度、ワークホーム縁友は、昭和・平成での輝かしい伝統を大切にして、新しい時代に向かって、新しいことにもチャレンジしていきたいと思っています。



## 神前ホーム

管理者 横関 勇



神前ホームは、灘区にあり、JR六甲道を少し北に進んだ住宅地の中にあるグループホームです。施設は、2階建ての民家を転用しており、平成9年8月に開設されました。

グループホームは、障がいを持った人たちが共同生活を送り、職員がその手助けをするという形で運営されており、障がいのある方が、地域で生活していく上で重要な役割を果たしています。現在、男性4人が利用されており、日中は、(株)いくせいなどで就労しています。

生活支援に当たっては、利用者が自主性を保ちながら、意欲的に生活が送れるよう生活習慣のチェックや体調管理に努めているほか、集団生活の中で、対人関係や協調性を養うため、誕生会や食事会を行っています。昨年10月には、丹波篠山に日帰り旅行を行い、観光や温泉への入浴を行いましたが、参加者全員が日頃とは異なった体験を通じて、大いに心身のリフレッシュを行いました。

なお、運営にあたっては宿直員の確保が大きな課題ですが、これについては、シルバーカレッジのOBで組織する「特定非営利法人 社会還元センター グループ わ」のご協力を得て、確保することができます。また地域の一員として、もちつき大会などにも参加し、地域との交流を深めるよう努めています。

# 新緑ルーキーズ対談 ~1年を振り返って~

とこはの家支援員

**山本 裕己**

とこはの家支援員

**岡 美沙希**

ワークホーム緑友支援員

**田中 佑季**

司会：堀江 善也（ワークホーム緑友施設長）  
竹本 繁弘（グリーンホーム平成施設長）

平成最後の年に入職した3名の支援員に集まつていただき、  
それぞれ1年を振り返っていました。  
入職したきっかけや、これからの思いなどを  
語っていただきましたのでご一読下さい♪



司会：まず初めに、この職業を選んだ理由は？

**山本：**学生時代に体験した仕事の中で、一番やりがいのある仕事に取り組みたいと思いました。その職場で最低3年は頑張ろうと思い、今に至ります。

**岡：**妹が知的障害を持っていて、自分が幼い頃から施設の雰囲気に馴染んでいましたので、いつかこの仕事をすることを自然に考えるようになりました。

**田中：**学生中に教職免許を得るための実習で行かせていただいた所が、知的障害者の施設でした。その時の印象が楽しかったので、この法人の採用試験を受けました。

司会：働き始めて苦労したことや、困ったことは？

**山本：**しばらく通所事業所で働いていましたので、夜勤など交代勤務に慣れるまでが大変でした。

**岡：**私も交代勤務に慣れるまで時間がかかりました。

**田中：**一人の利用者と関わっている時に他の利用者の把握が難しく、悩んだ時がありました。

司会：仕事を始めて充実していたことや、嬉しかったことは？

**山本：**1つの利用者のケースについて、グループで検討し、取り組んだ時に、長年続いている拘りと問題行動の緩和を導けたことが嬉しかったです。

**岡：**通院にお誘いした女性の利用者が拒否をして動かなかった時に、ネイルの装飾を見て「可愛いね」と話をしたら緊張が少し緩和したようで、無事に通院が出来たことが嬉しかったです。

**田中：**クラブ活動で利用者が自主的に描いた絵を見て、予想もしなかった芸術の表現に感動しました。

司会：休日の過ごし方や、楽しみは？

**山本：**友達と外食してお酒を飲むことや、魚釣りが好きです。

**岡：**休日は家の近くに買物に行っています。学生時代のようなバンド活動が出来ていないのが寂しいです。

**田中：**休日はゆっくり体を休めたり、時々美術館に絵を観に行きます。

司会：これから取り組みたいことは？

**山本：**みんなで楽しく支援に取り組める環境作りをしたいです。中には失敗や辛いこともあります、話しやすく聞きやすい職員の関係作りが大事だと思います。

**岡：**利用者と1つの関わり方ではなく、いろんな関わりができるようになりたいです。

クラブ活動に対しても、いろんな提案ができるようになりたいです。

**田中：**昨年度は、初めてのことばかりで、バタバタしていました。これからは、振り返りの時間をもち、できることを確実に積み上げていきたいです。

司会：10年後の自分はどうなっているか？

**山本：**いつまでも元気で頑張れたらと思います。

**岡：**イメージが浮かばないですが、この仕事を続けていたらと思います。

**田中：**私もこの仕事を続けたいです。

司会：これからも頑張って下さい。ありがとうございました。

## 支援者芳名録

【平成30年12月～平成31年3月】

## 「後援会扱い」

賛助会員名(敬称略)

池田恭子

会費合計 3,000円

## 「法人寄付扱い」

寄付者名(敬称略)

石黒和夫、登内昭夫

寄付金合計 120,000円

## 【法人】

## 新緑福祉会へのご寄付のお願い

社会福祉法人新緑福祉会へのご寄付受付を当法人事務局にておこなっています。

障がい(児)者の方が一人でも多く社会に参加し、生きることを中心から楽しめるよう知的障がい(児)者の家族、職員一丸となって取り組んでおります。

当法人の考え方、事業に共感をしていただける皆様からのご厚情・ご支援をお待ち申し上げております。

皆様からのご寄付はこのように役立てています

- ・新規事業所の創設(グループホーム・相談支援事業所等)
- ・車両の購入(送迎用ワゴン車、作業用トラック等)

個人ご寄付 1口 3,000円、団体ご寄付 1口 10,000円

## ご寄付の方法

## 《お振込》

郵便振込

口座番号: 00940-5-0236641

加入者名: 社会福祉法人 新緑福祉会(シャキイフクシカイ)

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、

電話番号は正確にご記入願います。

## 《現金でのご寄付》

法人本部事務局及び、法人内各事業所でも受け付けております。

(受付時間 平日9:00～17:00)

※窓口にて「払込取扱票」をご記入いただきます。

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、

電話番号は正確にご記入願います。

当法人にご寄付いただくと、以下の所得税法及び法人税法による控除が受けられます。手続きは、寄付をされた年の確定申告時に、当法人が発行した寄付金領収書を添付して下さい。

## &lt;個人の場合&gt;

以下の限度額で所得税法の寄付金控除が受けられます。

(「特定寄付金の支出額」と「総所得金額等の合計額の25%」のいずれか少ない方の金額) - 5,000円 = 寄付金控除額

## &lt;法人の場合&gt;

次の限度額内で法人税法上の損金算入ができます。

((期末資本金及び資本積立金 × 事業年度の月数 / 12 × 2.5 / 1,000) + (当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 100))

## ご寄付に関するお問い合わせ

社会福祉法人 新緑福祉会

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7

TEL: (078) 913-1277 FAX: (078) 913-1137

メール: otoiawase@shinryoku.or.jp

## 【後援会】

## 後援会賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人 新緑福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借入金の償還金相当額 540 万円の財政支援をしています。また、各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支援をしています。さて、賛助会員の皆様のご協力により、念願の「えみのき(咲の樹)」が竣工しました。今後は、ショートステイ、相談支援の運営にも期待が高まっています。ただ、親なき後の住まいについては、まだまだ多くのニーズが解消されておりません。そのため、さらなる事業拡大に向けて更に多額の資金が必要となり、資金集めに取り組まねばなりません。そこで、後援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに法人と連携し収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をしていただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員の方々には、ご加入の継続をご推奨いたしますよう、お願い申しあげます。

年会費: (個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口 10,000円(1口以上のご寄付をお願いいたします)

振込先: 郵便振込 口座番号: 00960-2-145979

加入者名: 「新緑福祉会 後援会」

新緑福祉会のHP (<https://www.shinryoku.or.jp>)に、後援会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても掲載していますので、是非ご覧ください。

## 編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第9号をお届けします。ご多忙の中、原稿を寄せていだいたい皆様に感謝申し上げます。併せて、スマートフォン対応にもなっていますホームページもご覧ください。利用者と共に人生を歩む者として、職員確保が深刻な課題となっています。毎年、多くの仲間を迎えていますが、まだまだ、満足のいく状況ではありません。関係の皆様には、職員人材の確保に向け、引き続き、情報提供等のご協力をお願いたします。

後援会の皆様には、令和最初の総会を終え、今年度も法人運営を支えていただきますことに感謝しつつ、社会啓発の一環である各種バザーへの協力をよろしくお願いたします。

今後も、法人組織が一体となって取り組んで参ります。

## お問い合わせ先

新緑福祉会本部 事務局内 新緑福祉会後援会

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137

<https://www.shinryoku.or.jp>